

【電線類が地中化されたランドスケープデザインの街並み紹介】

No.6 ピュアステージ宇佐Ⅲ 岐阜県:岐阜市宇佐

今回は岐阜市で初めて電線のない住宅地を開発された、当NPOの法人会員である岐阜市の株式会社全農林様からピュアステージ宇佐Ⅲをご紹介します。

■岐阜市初！電線のない住宅地が県庁近くの人気エリアに。

岐阜市西部に位置する「宇佐」という地域、周辺には「県美術館」「県図書館」「岐阜市科学館」「社会保険事務所」「岐阜市役所支所」などの公共施設などが点在しており、また近隣にはスーパーやロードサイドの飲食店等が多数ございます。この地区は県庁に近いこともあり、20年ほど前に西岐阜駅が開設され、毎日の駅利用者も大変多くなっております。名古屋まで電車で22分、車でも45分という通勤圏内になっており、岐阜市内においても大変人気の高い地区です。

このような立地条件に恵まれた岐阜市宇佐に、2013年8月「ピュアステージ宇佐Ⅲ」が誕生しました。今回の物件は弊社においても初めて電線類を地中化した分譲地であり、力を入れて開発に取り組んできました。ただしこういった分譲地は岐阜市内においても前例がなく、行政や関係各社とのやり取りにも大変苦労しました。が、その結果岐阜県への地中化の路線指定も行うことができ、また分譲地および近隣の田を含むおよそ5,000坪の広い空間で地中化をすることが出来ました。

■無電柱で災害に強く、好景観のまちに。

弊社のピュアステージシリーズはワンランク上の住宅地として、6mの広い道路幅、上下水道・都市ガスなどの設備が完備されていることが特徴ですが、今回出来上がった分譲地は電線類を地中化することにより、今後起こりうる地震災害にも万全の備えを持つ街となりました。またそれだけでなく、インターロッキングや緩やかなS字カーブなど道路にも工夫を凝らし、街全体の景観にも配慮した街づくりをしています。さらには24時間体制のセキュリティ対策も街全体に施し、また日照面を考えて隣接する土地の南北で高低差をつけるなど、そこに住まわれるご家族が永く、気持ちよく、安心して暮らしていただけるよう、また子供たちが自分たちのふるさととして大切にできるよう、最大限の提案をさせていただきました。



岐阜市宇佐地区ののびやかな景観



イメージパース

日本の電柱・電線社会の現状について感じていることをエッセイとして綴り、お送り下さい。本会報の【随想】欄に掲載させていただきます 1000～1500文字、簡単な自己紹介(お仕事、住所等)とポートレート(顔写真)を添えて下さい。投稿をお待ちしています！事務局 井上、山岡 info@nponpc.net

私達が住む日本の空を、みんなで美しい空へ！

美空～MISORA～

第61号

発行日:2013年9月25日(水)

発行者:NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク

理事長 高田 昇

【活動報告】2013年8月27日東京活動委員会(中央区立新川区民館)

◆東京活動委員会

8月度の東京活動委員会を8月27日に開催。井上事務局長から、各地の講演会で話している内容を纏めて話題提供。内容は、電線類地中化のメリット・デメリット、施工方法の概要、コスト問題、当NPOの行政との係わり、最近の活動実績、技術開発など多方面の話題で構成されていた。

国際建設技術協会が海外の無電柱化を調査した資料をドロップボックスに上げた。日本との差がよくわかる内容なので、興味がある方は一声かけていただければお送りする。

【活動報告】2013年9月4日理事会(COM計画研究所)

◆技術開発委員会:井上(丁)理事

①9月6日に国土交通省で「狭隘道路の無電柱化について」の勉強会が開催される。高田理事長、井上事務局長、井上(丁)理事、事務局山岡が参加予定。

②10月30・31日にマイドーム大阪(大阪市中央区)で開催される『建設技術展』にイトーヨーギョーがDDBOXを出展。一部を当NPOの出展スペースとして確保。パネル1枚の展示とパンフレット、チラシの配布を行う。

◆事業協力委員会:井上事務局長

①新潟県見附市が所有する40,000㎡の住宅用地の地中化が検討されている。久住時男見附市長が「ウェルネスシティ構想」を発表し、健康で歩きたくなる街づくりなどを進めている。現在はどのように街づくりを進めるのか、ディスカッションをしている段階。

②8月9日埼玉県越谷市街づくり協調会で「電線のない美しいまちづくり勉強会」が開催され、井上事務局長が講師として参加。電線のない街の事例紹介や手法などを講演した。東京の個人会員高山氏、事務局山岡も参加。

◆次回の理事会の日程:

■東京9月24日(火)住友林業(株)会議室(千代田区丸の内:経団連ビル8F)にて
話題提供:山岡…電線類地中化のコスト問題について

■大阪9月25日(水)COM計画研究所
国土交通省勉強会報告 その他



【国土交通省との「狹隘道路における無電柱化」勉強会報告】

9月6日(金)13時30分より霞が関の国土交通省内会議室において「狹隘道路における無電柱化」勉強会が開催された。

国交省道路局から3名と当NPOから高田理事長、井上(了)理事、井上事務局長、事務局山岡、法人会員の梶伊トヨーギョー様から3名の合計7名が参加。

1. 会議の冒頭高田理事長から当NPOの紹介を行い、NPOを立ち上げた理由は「地中化に特化した専門機関が無かったこと」、役割は電線地中化に関する情報発信や啓蒙、関連の技術開発、そして電線地中化事業への協力と説明した。また、現状の問題点として、電線地中化は土木・電気・通信と関連分野が多く行政が縦割りになっている、関係技術は電線事業者が独占しており幹線道路の電線共同溝は技術的には確立しているが高コストである、住民の合意形成が難しいことを指摘した。さらに、住民の合意形成については、現在は専門家によるコンサルティングで合意形成を得ることは可能であり、京都府福知山市広小路通り商店街の事例を説明した。
2. 井上理事兼事務局長から、「電線のない美しい景観まちづくり」をPPTで資料に基づき説明した。
3. 国土交通省から事前に「狹隘道路における無電柱化手法」について質問事項を頂いていたことに対して井上理事兼事務局長が文書による回答と説明を行った。
4. フリーディスカッションに移り、国土交通省から以下の問題点や懸念が示された。
 - 1) 電線類地中化を取巻く状況は厳しく予算が増額される見込みは無い。
 - 2) 電線類地中化は事業化容易な箇所は終わりつつあり、難しい箇所の整備を行いたい。災害時緊急避難路や狹隘道路の電柱は問題、対応をどうするか。
 - 3) 電線地中化のコストダウンを図り、限られた予算の中で整備延長を伸ばしたい。軒下配線や、裏配線は整備延長全体の1%でしかないが、整備手法として進めて良いか。
 - 4) 新規住宅開発地の電線地中化の場合、官への移管が問題化してないか。出された問題点などに対し、高田理事長始め出席者が知見を話し議論が進んだ。
5. 出席者からの「世論喚起が必要である」との声を受け、国土交通省は近くキャンペーンを展開する予定であることが示され、資料としてPPT資料の使用を要請された。
6. 今後の議題として、狹隘道路の無電柱化手法を確立していく上で、何がポイントになるかを検討し次回以降の勉強会の議題としたいとの申出があり、双方が議題を検討することで会議を締めくくった。

「美空」に載せてほしい事、調べてほしい事などがありましたら info@nponpc.net までお送り下さい！皆様のご意見、お待ちしております！ tel:072-653-5811 Fax: 072-653-5833

電線地中化に関するコラム・情報を月2回メールマガジンで配信しています！ぜひこちらもご登録下さい！ → <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>

金沢方式無電柱化実施計画で電線類地中化を推進

～歴史的な街並みでの電線類地中化事例～

取材：事務局 井上利一

金沢市の景観政策は、武家屋敷群にみられる土塀、門等の修復・新設事業に対する補助制度（S39年創設）が始まりと言われている。S43には全国に先駆けて景観条例を制定。また、S61年から無電柱化の取り組みを行ってきた。H23年度末までの整備延長は約33kmに及んでいる。

H21年度には、「金沢方式無電柱化実施計画」を策定し、段階的に無電柱化を実施している。この計画の特徴は、

- ①整備エリアを旧城下町区域を中心とした「まちなか区域」（約860ha）に絞る。
- ②このエリアの路線に優先順位を設定（1次、2次、その他）。
- ③市道に限らず、国道、県道に対してもあるべき姿（無電柱化路線）を提示。
- ④基本方向として「金沢方式」なる事業アプローチを設定。

「金沢方式」は特別な工法等ではなく、各路線毎に住民参画の無電柱化計画を策定することによって、無電柱化の支障となる課題を解決していくアプローチのことを指す。コスト縮減の観点のもと、完全地中化にこだわらずに地域の実情を考慮した無電柱化方式を採用することとしている。

金沢市土木局道路建設課 無電柱化推進室長の水口氏は、「無電柱化はお金だけの問題ではない、トランス設置場所や、周辺住民の理解、電線管理者との調整などがクリアできて初めて実現可能となる」と語る。7～8年前までは、電線管理者とも陰悪の仲だったが、今は、ツーカーで進められるようになった、とも。歴史的な街並みに多い、狹隘道路の無電柱化を推進してきた経験と工夫の成果が表れてきているようです。また、現状の問題点として、トランスのコンパクト化と電線共同溝は電気事業法等の縛りもあり、オーバースペックだと指摘していた。電線類地中化先進都市金沢の動向から目が離せません。



ホームページでも、最新情報を詳しく掲載していきます。 <http://nponpc.net/>
フェイスブックはこちら: <http://www.facebook.com/NPONPC>